

日本学術会議 第24期哲学委員会「古典精神と未来社会」第2回分科会 議事要旨

日時：平成30年3月27日（火）13時30分～16時30分

場所：日本学術会議 5-C(1)会議室

（出席16名）岡田（世話人）、芦名、伊藤、葛西、梶原、加藤、熊野、小島（委員長）、土屋、手島、鳥越、中島、納富（副委員長）、芳賀、吉水（幹事）、渡邊  
（欠席4名）佐藤、鈴木、巽、土田

議題

1 前回議事要旨の確認

小島委員長より前回議事要旨の確認ならびに20期以来の当分科会の活動について報告があった。

2 分科会の24期における具体的活動について

次の3つの活動計画について小島委員長より説明し、実施にあたっては3つのグループに分かれてそれぞれ作業していきたいという提案があった。補足説明、質疑応答、意見交換を行ったのち、提案が承認された。

- 1) 国家公務員採用総合職試験（教養区分）の試験に哲学的内容の出題をする件
- 2) 岩波ジュニア新書の続編の件
- 3) 古典に関するセミナーの件（2018年については11月に関谷学校で開催する）

3 岩波ジュニア新書の企画について

議題2とあわせて説明され、了承された。

4 その他

納富副委員長より、世界哲学大会の2023年招致準備のため、「世界哲学構築のための分科会」が設置される旨報告があった。

次回の分科会は11月に開催する予定。